

地方独立行政法人三重県立総合医療センターの概要

(平成30年4月1日現在)

病院の概要

開設日：平成24年4月1日（三重県立総合医療センター開設は平成6年10月1日）

所在地：〒510-8561 四日市市大字日永5450番地132

(Tel:059-345-2321/Fax:059-347-3500/e-mail:rinken@mie-gmc.jp)

開設者：理事長 新保 秀人

病床数：一般病床 413床（感染症病室4含む）

救命センター 30床

院長：新保秀人（心臓血管外科）

副院長：白木克哉（消化器内科）

牧野克俊（循環器内科）

古橋一壽（麻酔科）

川島いづみ（看護部長）

医師：108名（常勤）

診療科：総合内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、消化器外科・一般外科、
乳腺外科、呼吸器外科・心臓血管外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、整形外科、皮膚科、
泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、精神科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診
断科

ジュニア研修医：1年次11人、2年次10人、現在計21人

シニア研修医：16人

認定施設

基幹災害拠点病院

エイズ治療拠点病院

地域周産期母子医療センター

へき地医療拠点病院

地域医療支援病院

三重県がん診療連携拠点病院

臨床研修指定病院

日本医療機能評価機構認定病院（平成26年5月認定 第三世代バージョン1.0 一般病院）

NPO法人卒後臨床研修評価機構認定病院（平成27年4月1日更新認定 有効期間4年）

学会認定施設

日本内科学会認定医制度教育病院

日本小児科学会小児科専門医研修施設

日本皮膚科学会認定専門医一般研修施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本外科学会認定医制度修練施設
日本整形外科学会専門医研修施設
日本産科婦人科学会専門医制度委員会卒後研修指導施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設（基幹教育施設）
日本脳神経外科学会専門医訓練施設（A項施設）
日本医学放射線学会専門医修練協力機関
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本消化器病学会認定施設
日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本神経学会教育関連施設
日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設（認定施設）
日本消化器内視鏡学会認定指導施設
日本大腸肛門病学会認定施設
日本周産期・新生児医学会新生児研修施設（指定施設）
日本透析医学会教育関連施設
日本呼吸器内視鏡学会認定施設
日本心血管インターベンション治療学会認定研修関連施設
呼吸器外科専門医合同委員会関連施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定修練施設（基幹施設）
日本呼吸器外科学会専門医認定制度指定関連施設
日本呼吸器学会認定施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院
日本肝臓学会認定施設
日本アレルギー学会認定準教育施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本乳癌学会認定専門医制度関連施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設
日本感染症連携研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設

診療目標と研修・実習体制

1. 高度救急医療の提供：救命救急センター

H29年年間救急外来受診者数：13,080人、年間救急車受け入れ回数：4,960回

ACLSを中心にした医師・看護師等の救急実習

夜間休日診療における研修医のプライマリーケア研修

2. 災害医療の中核：基幹災害医療センター

年2回以上の災害医療の研修会・訓練

3. 感染症の診療拠点：感染症病室

SARSおよび2類以下の感染症患者の受け入れ

4. がんの専門的医療の実施

乳がん・肺がん・胃がん・大腸がん・肝がん・前立腺がんへの取り組み

院内や地域医療機関の医療従事者に対する研修

5年生存率等がん医療に必要なデータを収集・管理・情報提供

5. その他の施設

NICU、GCU、MFICU、無菌手術室、外来がん化学療法室、10の専門外来、緩和ケア病床、屋上ヘリポート、内視鏡センター

医師の院外・国外研修制度等（H20年度実績）

米国ニューヨーク州（Winthrop university hospital）に1ヶ月留学研修 他

（※独自の海外研修・学会発表補助制度があります）

臨床研修計画

臨床研修制度の見直しにあわせ、研修1年目に内科系（消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・神経内科）8ヶ月、救急2ヶ月（加えて救急当直を月5回程度×24ヶ月行い、2年間で計3ヶ月相当以上の履修とする）、病院で定めた必修科目2ヶ月を履修し、2年目に病院で定めた必修科目5ヶ月、地域医療研修1ヶ月、自由選択科目6ヶ月履修することとしました。病院で定めた必修科目は外科・産婦人科・精神科を各1ヶ月、麻酔科・小児科を各2ヶ月研修していただきます。必修科目の再履修やその他の診療科は自由選択期間中に研修が可能です。院内の研修はすべて専門医・認定医が行い、チームとして皆様の研修指導にあたります。地域医療や精神科研修は近隣の協力施設で実施します。

また、MMCプログラムとしての院外研修は、2年目の自由選択期間中に実施していただけます。

研修医の身分・待遇

研修医は地方独立行政法人の正規職員として採用されますので、法人職員として身分保障されます。給与については法人職員の医師の初任給が支払われます。時間外手当、宿直手当および期末・勤勉手当（ボーナス）等の手当と合わせると年間支給総額は約600万円（平成24～29年度実績）となります。公的健康保険および公的年金への加入、公務災害適用など給与面以外も充実しています。

症例検討会、CPC等の勉強会

研修を受ける診療科では基本的に毎週症例検討会が行われています。消化器、循環器、呼吸器等では内科系と外科系が共に行う症例検討会もあります。CPCは自院で年10回程度開催されます。研修医が独自に早朝勉強会を行っていますが、各医師が講師になり、和気あいあいとしたなかにも、真剣味をもって運営されています。また、院内では年10回以上の講演会が開催されています。一方、近隣の医療機関と合同で研修医のための勉強会を計画しており、年数回開催されます。